【夢いっぱい　笑顔いっぱい　元気いっぱの　知念っ子】

ティーダ

学校だより第 20 号　発行者
南城市立知念小学校
校長　長木　克憲
令和８年 10 月 19 日

【情報化社会と情報モラルについて】

現代社会は情報化社会で、学校でも一人一台タブレットを配布し、学習に使用しています。調べ学習や発表・不登校児童の学びの保障等、社会の情勢に合わせＩＣＴ教育がかかせないものとなっています。また、携帯電話やゲーム機等の所持率も高くなっています。便利な社会になっていく一方、それらを使用する側のモラルや個人情報保護等、多岐にわたり懸念されることも多くなりました。

最近、学校のタブレットからあるサイトに入り、その掲示板でやりとりをしていた。ことがわかりました。子ども達の能力はすごいとしかいえません。

しかし、この書き込みが「世界の誰もが見れること」「誰がどのような意図で書き込んでいるのか」「個人情報が漏れる」という認識は、大人ほどありません。しかも、大人が知らない、見えない所で行われます。この件について学校では臨時職員集会を持ち、学級指導をしています。

以前、警察のサイバー犯罪課の職員から講習を受けたとき、青少年が様々な被害にあっている沖縄県の現状を紹介してもらいました。子ども達を取り巻く環境も決して安全ではありません。学校教育では、警察署の職員による情報モラル講習会を実施したり、その都度指導はしていますが、後を立たないのが現状です。

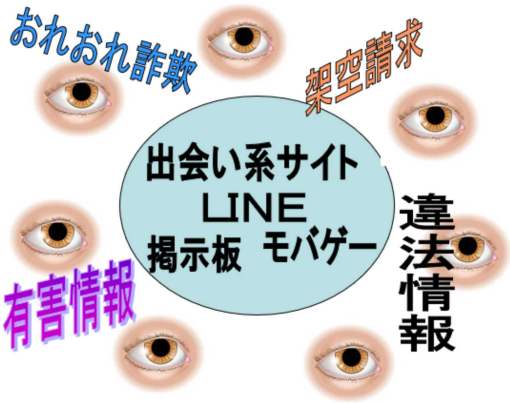
「誹謗中傷の書き込み」「課金問題」「出会い系サイト」「著作権法違反」「脅迫」「ゲーム依存症」。また、現在よく報道されている個人情報漏洩等、いろいろあります。ゲーム機の中に出会い系サイトみたいなところに通じるものもあるそうです。あるサイトに入った瞬間にお金を請求された案件もありました。

このような社会で生きていく子ども達には、正しい情報モラルを持ち、犯罪に巻き込まれないようにしてほしいと思います。また、健康被害の面でも危惧されます。

各ご家庭でも、家での利用時間、利用の仕方について、お子さんとよく話し合われてください。

- 人の悪口や傷つくことを書かない。
- 個人情報（顔写真）を送らない！
- 知らない人からのメールは返信しない！
- ネットで知り合った人で会わない！
- トラブルにあったらすぐ大人に相談する！

※傷つくのは自分やその家族！



【　　インターネットホットラインセンター】内の相談窓口紹介例

- 迷惑メール相談センター（一般財団法人日本データ通信協会）
  https://www.dekyo.or.jp/soudan/
- サイバー事案に関する相談窓口
  https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/soudan.html